



いちかわみさと

議会だより

第29号

2012年11月1日発行



● やったあー 黄組(六郷小)

平成24年 9月定例会

第1・2回臨時会

- 新・議会構成決まる・・・・・・・・・・ 2～3
- 平成23年度決算認定・・・・・・・・・・ 4～5
- 条例改正、臨時会・・・・・・・・・・ 6
- 平成24年度補正予算・・・・・・・・・・ 7
- 常任委員会報告・組合議会報告・・ 8～9
- 5議員が一般質問・・・・・・・・・・ 10～14
- 審議結果・討論・請願・・・・・・・・・・ 15
- みんなのページ・・・・・・・・・・ 16

新・議会構成決まる

平成24年第3回定例会は、9月5日から19日までの15日間にわたり開催されました。今定例会では、平成23年度決算認定をはじめ、平成24年度一般会計・特別会計補正予算など、13議案、同意1件、報告2件、発委1件が提案され、いずれも原案のとおり可決、認定されました。また、会期中、議長・副議長が辞職したため選挙がおこなわれ、議長に内田利明氏、副議長に小林一史氏が選出されました。

なお、一般質問は、5人の議員が町政全般について町の考えをただしました。



議長 内田 利明

この度9月定例会において、松野議長の辞任に伴い議長指名推薦により、第六代の議長に就任することになりました。

前議長には、二年間ご尽力くださいましたことに深く敬意を表します。

ただいまの心境は、身に余る光栄と感謝致すと共に、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。未熟者ですが精一杯努力し、その職責を果たしていきたいと思えます。

市川三郷町も合併し八年目になります。「暮らしやすさ

日本一を目指して」を基本スローガンに策定した十年計画の「第一次総合計画」もその終盤期を迎えています。厳しい財政状況のもと、その検証と評価の見極めが非常に大きな課題であると考えています。行政と一体となり取り組んでいきたいと思えます。

また議会運営に関しまして、議会のあり方、議員の行動指針等を規定した議会基本条例の制定に着手しています。町民のための議会を目指していきたいと思えます。

町民の皆様の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。議長就任の挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひ致します。



副議長 小林 一史

副議長職を拝命し光栄に存じます。

我が国が置かれている難しい状況と同様に、本町にも数々の課題が山積しております。その中で議会の責務も極めて重大なものと認識しておるところです。議会や議員の果たすべき役割・活動原則等を定める『議会基本条例』の制定に向けての検討を含む議会改革も進展しております。

住民の望む議会の有り様を考慮しながら、目指す議会を



議場の様子

お示しする予定です。微力ではありますが議長を補佐し、円滑な議会運営を心がける所存です。町民の皆様の負託に応え、より信頼される議会となるべく努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いする次第です。



委員会構成

土木環境 常任委員会

委員長 宮崎博巳
副委員長 市川朝嗣
委員 志村公人
村松武人
内藤優夫
望月隆夫

厚生 常任委員会

委員長 有泉希
副委員長 笠井雄一
委員 遠藤浩一
小林史達
井上雄正
一瀬

総務教育 常任委員会

委員長 三神貞雄
副委員長 川崎充朗
委員 土屋惠三郎
内田利明
松野清貴
秋山詔樹

消防委員

(議会選出)

笠井雄一
土屋惠三郎
遠藤浩

議会広報編集 特別委員会

委員長 笠井雄一
副委員長 土屋惠三郎
委員 市川朝嗣
川崎充朗
宮崎博巳
有泉希

議会運営委員会

委員長 松野清貴
副委員長 一瀬正
委員 宮崎博巳
有泉希
三神貞雄
村松武人
秋山詔樹

山梨県後期高齢 者医療広域連合

井上達雄

峡南衛生組合

志村公人
内藤優

中巨摩地区 広域事務組合

遠藤浩一
松野清貴

峡南広域 行政組合

村松武人
望月隆夫
秋山詔樹

三郡衛生組合

宮崎博巳
有泉希
三神貞雄
一瀬正



平成23年度 決算報告

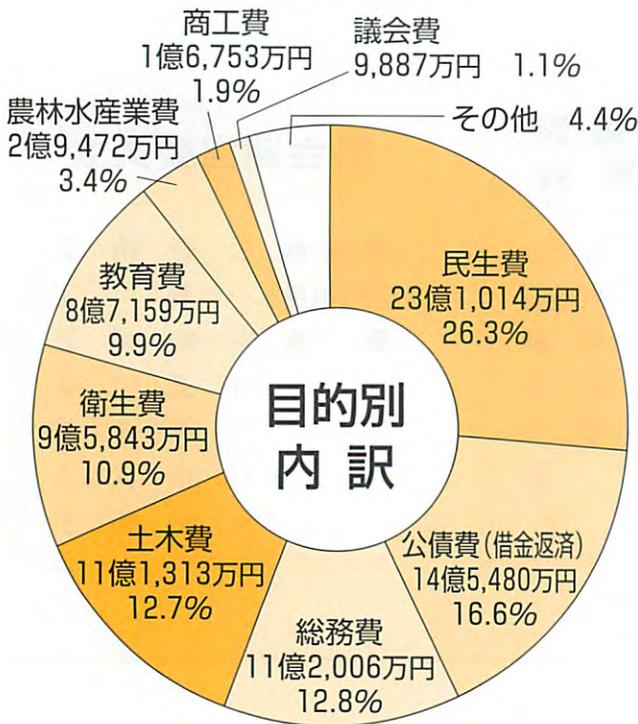
歳入総額 155億3,591万円
 歳出総額 144億2,414万円
 差引額 11億1,177万円

一般会計の歳出決算は、87億7,264万円、特別会計の16会計を合わせると、56億5,150万円で、一般会計・特別会計の合計は、144億2,414万円となりました。

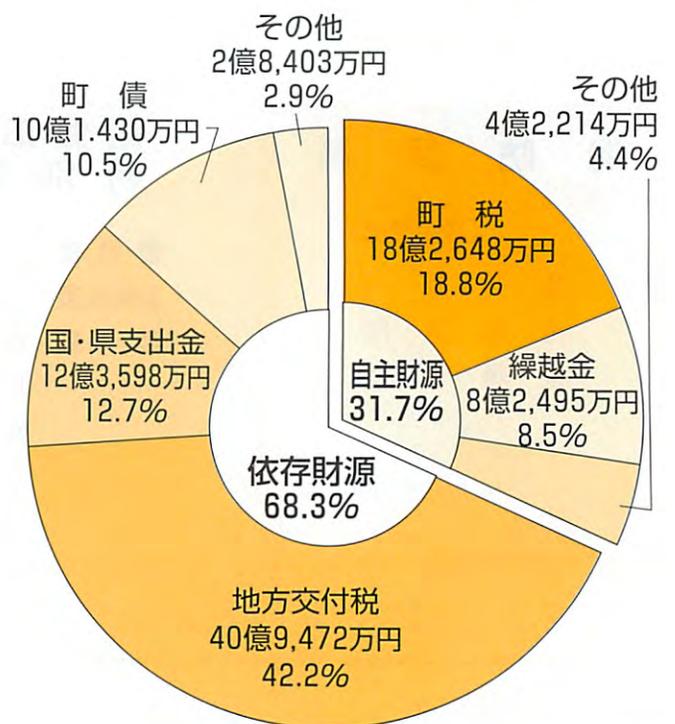
前年度と比べると、約1%の増となりました。

また、歳入決算は155億3,591万円で、約11億1,177万円歳出決算を上回りました。さらに、町民負担の公平性の面からも収入未済額が課題でしたが、前年度より約2,000万円ほど改善されました。

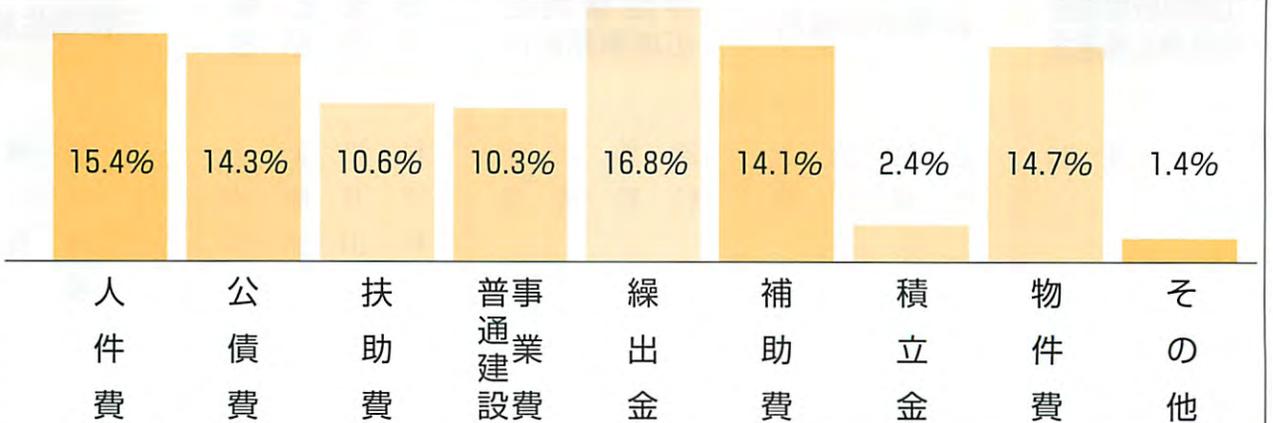
歳出 87億7,265万円



歳入 97億260万円



性質別内訳(一般会計)



監査委員意見書より(抜粋)

(中沢 尚・内藤 優 監査委員)

①総体的な財務諸指導によると、経常収支比率がやや上昇したが、実質公債費比率11.3%、将来負担比率96.1%など、依然として不安定な経済情勢が続いており、予断を許さない状況である。なお一層健全財政に向けた取り組みを求めたい。

②歳入面では収入未済額の問題が、課題である。一般会計収入未済額は、町税など合わせて、1億5,680万円あまりとなっている。前年度と比べると約2,000万円ほど改善された。

また、滞納を含めた収納率では、一部の税目を除いて前年を上回った。さらに、納入困難者への配慮をしながら、公平性の確保に努めること。

③歳出面では、決められた予算が、適正に執行されているかどうかを視点の一つとしてとらえ、今までも不用額について指摘してきた。近年、職員の努力がかなり改善されたが、目につく費目として、共済費・需用費・役務費・委託料・工事請負費・負担金・扶助費などで、共済費については、もう少し精査に努めること。

〈上水道事業会計〉

なお一層の経営改善を

収益は、1億5,045万円、費用は1億4,567万円で収益的収支は、478万円の純利益となりました。

〈病院事業会計〉

○病院分

収支で黒字に!

収益は、16億1,758万円、費用16億1,641万円で、差引117万円の純利益となりました。

○介護老人保護施設分

入所利用率93%に評価!!

収益3億5,787万円、費用3億6,254万円となり467万円の純損失でした。

会計別決算状況

会計名	歳入	歳出	
一般会計(A)	97億260万円	87億7,265万円	
特別会計	国民健康保険	21億8,884万円	21億71万円
	国民健康保険診療施設	7,536万円	7,047万円
	介護保険	18億4,269万円	18億988万円
	介護サービス事業	1,280万円	1,271万円
	訪問看護ステーション	2,946万円	2,823万円
	簡易水道	3億293万円	2億9,325万円
	公共下水道事業	10億3,244万円	9億9,952万円
	農業集落排水事業	3,554万円	3,476万円
	戸別浄化槽整備推進事業	653万円	624万円
	温泉事業	6,945万円	6,860万円
	恩賜県有財産保護管理事業	237万円	11万円
	市川財産区	161万円	2万円
	高田財産区	82万円	2万円
	大同財産区	328万円	2万円
	歌舞伎文化公園管理	3,615万円	3,442万円
	後期高齢者医療	1億9,304万円	1億9,254万円
小計(B)	58億3,331万円	56億5,150万円	
合計(A+B)	155億3,591万円	144億2,414万円	

町の健全化指標

	23年度	早期健全化基準
実質赤字比率	-	14.42%
連結実質赤字比率	-	19.42%
実質公債費比率	11.3%	25.0%
将来負担比率	96.1%	350.0%

*実質赤字比率、連結実質赤字比率は、赤字額がない為「-」で表示しています。

- 町民1人あたりに使われたお金は
50万1,093円
- 町民1人あたりの負担額は
10万4,328円

*町の人口:17,507人(平成24年9月現在)

条例の改正 2件・廃止 1件

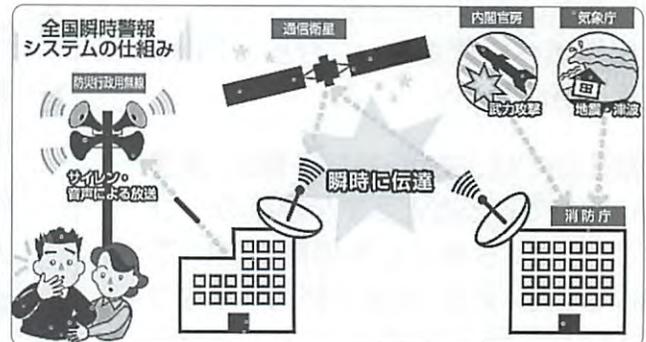
防災会議条例の一部改正

平成24年9月19日施行

災害対策基本法の一部改正に伴い町の防災会議条例と災害対策本部条例の一部を改正するもの。



防災避難訓練



災害弔慰金の支給に関する条例の改正

平成23年3月11日以降
災害対象

東日本大震災の甚大さ等を鑑み、他に支給対象者がいない場合で、死亡者と同居し、又は生計を同じくしていた、兄弟姉妹も支給対象者とするもの。

老人医療費 助成金廃止

平成25年4月1日施行

68～69歳の非課税対象者の医療費の助成については、山梨県単独事業である助成事業が廃止されたことに伴い、本町の老人医療費助成金支給条例を廃止するもの。

第1回臨時会

開催 平成24年7月17日
議題 一般会計補正予算(第2号)の専決処分(1件)についての承認

内容 1、農地、農業用施設災害復旧費

予算 199万円
2、道路橋梁・河川災害復旧費 370万円

第2回臨時会

開催 平成24年8月10日
議題 一般会計補正予算(第3号)六郷中学校特別教室棟改築工事請負契約の締結

内容 1、ドクターヘリ搬送拠点取付道路に係るボーリング調査費

270万円
2、市川大門町民体育館トイレ改修工事費 845万円
3、六郷中学校特別教室棟改築工事請負契約 86、835千円
契約先 井口工業株式会社

請願

◎採択
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

請願人

市川三郷町PTA協議会

会長 丹沢 一明

市川三郷町市川大門4202

市川三郷町公立小中学校長会

会長 望月 裕一

市川三郷町楠甫821

市川三郷町公立小中学校教頭会

会長 笠井 哲哉

市川三郷町楠甫1023

山梨県教職員組合峡南支部

東部班

班長 芦澤 靖司

富士川町鵜沢1816

紹介議員

笠井 雄一
土屋恵三郎

人事

人権擁護委員

有泉 妙子氏

市川三郷町市川大門

有泉 順子氏

市川三郷町中山



平成24年度

一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額 1億5,750万円

総額 83億6,062万円

収入のおもな内訳は



地方交付税	1億791万円
国庫支出金	△872万円
県支出金	2,576万円
繰入金	388万円
繰越金	124万円
諸収入	△150万円
借入金(町債)	2,880万円

おもな使いみち

第1回臨時会

災害復旧費

作業員賃金、機械借上料 569万円

第2回臨時会

衛生費 ドクターヘリ地域救急搬送
拠点取付道路設計委託料 270万円

教育費 市川大門町民体育館
トイレ他改修工事費 845万円

総務費

衛星携帯電話購入費他追加 962万円
六郷町民会館空調設備
改修工事費更正 △672万円

民生費

保泉公民館トイレ改修工事費 96万円

教育費

下芦川分校解体工事費 644万円
大同地区公民館設計委託料追加 351万円
給食センター修繕費追加 200万円

農林水産業費

企業的農業経営推進支援事業
委託料追加 541万円
羽場下地内水路改修工事費 390万円

土木費

町道維持修繕工事費追加 1,250万円
町内河川水路維持改修工事費追加 1,400万円
川浦団地空家解体工事費 188万円

衛生費

自然エネルギー有効活用促進
奨励金追加 480万円
不活化ポリオワクチン個別接種委託料 640万円
ドクターヘリ整備事業用地買収費 840万円



ヘリポート取付道路予定地

総務教育

開催日
9/6

問 JR市川大門駅に設置予定のボックスは。
長田政策推進室長 本町の7駅すべてが無人性化となり、1ヶ所だけでも有人化するため、JRと協議し、町が駅舎に人を置く簡易委託販売形式を検討し、改装する。



JR市川大門駅

問 ドクターヘリの基地数及び場所は。
長澤総務課長 1ヶ所、下九一色中学校跡地。
問 衛星携帯電話に関し、想定孤立集落は。
総務課長 26集落を想定している。

問 本庁舎の免震構造のメンテナンスは。
総務課長 通常10年に一度と考えている。数年前に実施したい。
問 下芦川分校の解体内容と解体時期は。
網倉教育総務課長 平屋建て、208㎡・単価㎡当たり3万956円、予算議決次第執行する。

問 夜間照明等の耐震化は。
小林生涯学習課長 今後対応を検討していく。
問 町内小中学校6校庭にスプリンクラーが設置されているが、残り3校の設置計画は。
町長 大塚・市川南の2校については、財政計画にあり、できる限り早く設置したい。
問 財政健全化指数が示されたが、毎年、財政力指数が下り、自治力を上げることの重要性は。
志村財政課長 自主財源の確保と、歳出削減を図っていく。
問 扶助費・職員給の上昇は。
総務課長 中間層の昇給が、全体増と推測する。

厚

生

開催日
9/10

問 町内に手話通訳を必要とする対象者は。
青柳福祉支援課長 聴覚障害者手帳を保持している者は88人、23年度通訳派遣10人、延べ70回。
問 NPO法人が使用している、旧保泉公民館の公民館としての位置づけは。
福祉支援課長 公民館としての機能は、廃止されている。

月分を6月に支給するので、2ヶ月分を支給し、その時点で精算した。
問 南保育所の防犯カメラ設置理由と、今後の計画は。
和田保育課長 民家から離れている場所で盗難にあつたため、状況を見ながら施設への拡大を考える。

問 旧保泉公民館のトイレ改修費(100万円)は、前年度補助対象事業で、なぜ対応しなかったか。
福祉支援課長 補助要綱により、限度額を超えたため。
問 ドクターヘリ整備事業に伴う、全延長・幅員は。
一瀬いきいき健康課長 設計段階で何案か検討中。120m前後、幅員5メートル。
問 子ども手当から児童手当に予算組み換えしたが、残額の支払いは。
いきいき健康課長 当初1年分予算計上したが、児童手当に変更され、2月・3



問 後期高齢者医療特別会計決算で、負担金の不用額は。
望月町民課長 3月補正で対応したが、最終決定通知が5月にあつたため。



土木環境

開催日
9/12

問 自然エネルギー活用で、太陽光発電が主流だが、小規模水力発電や、ゴミ焼却熱等の利用に対する考えは。
河西生活環境課長 太陽光発電については、公共施設にも計画したいと思っている。

その他の方法についても、今後研究していきたい。

問 青年就業給付金の追加理由は。

丹沢産業振興課長 当初3名分であったが、今年度1名が辞退し、その後2名が新規就農者に認定され、1名分を追加するもの。

問 市川小学校から市川中学校の路線検討概略測量調査費の内容は。

加藤建設課長 非常に狭い道路解消のため、地元の意見を聞き、路線検討する。

問 市川大門上地区の、公共下水道工事の着手時期は。

生活環境課長 水質障害関係で、早くても平成29年度以降になる予定。

問 市川大門地区のゴミ集積所は、景観・衛生上、また、狭い道路では、通行の支障になっている。町有地や道路敷・河川敷等支障のない場所に少しでもステーションの設置をしたらどうか。

町長 高齢者の搬出距離の問題もあり、都会でも同様な収集方法で行っているが、今後検討したい。



ゴミ集積所

問 地籍調査全体の完了予定は。

産業振興課長 市川・六郷地区は完了。三珠地区の進捗率は、7、7%で、平成43年度の完了を目指す。

組合議会報告

峡南衛生組合

第2回臨時会

8月8日

24年度一般会計補正予算1議案は、原案どおり可決されました。

歳入は、南部町の可燃ごみ受け入れに伴う、負担金1千261万2千円の追加。

歳出では、各地区の要望に応え、土壌検査費、結果表示を行う屋外掲示板設置等、住民の健康に配慮した衛生費と、財政調整基金・積立金の追加。
(報告 内藤 優)

中巨摩地区広域事務組合

第1回臨時会

6月18日

24年度一般会計・特別会計補正予算、鎌田川堤防用地改修に伴う調停についての3件と監査委員の選任の同意、4案件で原案通り可決・同意されました。

一般会計補正予算では、施設整備基金からの繰入金6億円を追加。鎌田川調停に係る解決金を追加。

ごみ処理事業特別会計補正予算では歳入は繰越金の追加、歳出では、調停に係る弁護士報酬費105万円を追加。

鎌田川堤防用地改修に伴う調停では、県から10億600万円の要求に対し、甲府簡易裁判所より6億円の案が示され、この調停を受け入れる事とした。
(報告 小林一史)

峡南広域行政組合

第1回臨時会

6月22日

一般会計補正予算1件、特殊機械浴槽の売買契約締結1件で、いずれも原案通り可決されました。

補正予算では、歳入は「町村電算システム負担金」262万5千円、「財政調整基金繰入金」2、235万8千円の追加。

歳出は、後期高齢者医療システム改修・消防救急デジタル無線実施設計業務委託料。

契約締結では、慈生園で使用している特殊機械浴槽の入れ替えに伴う契約金額882万円。
(報告 井上達雄)

財政確保のための観光資源の開発を

笠井 雄一 議員

—四季のまつりを中心に PRをしている—

問 第一次総合計画策定から7年を経過したが、既存の観光資源の魅力向上、新しい観光資源開発とともに、農業との連携強化による、地域活性化の取り組み状況及び具体策は。

町長 活力あるまちづくり施策として、各地区を代表した四季のまつりの開催を町内外へ、各種団体・公共機関を通し、PRをしている。

新たな観光資源として、四尾連湖を中心とした、未整備地を含む登山道コースを走る、トレイルランニング大会の開催を検討している。のつぷいプロジェクトの大塚にんじんを使用した各種商品開発事業・甘々娘・大塚にんじん収穫祭への協力を続け、町内の観光拠点をまわる移動手段等工夫して、都市部との交流も推進し活性化に努める。

問 活性化あるまちづくりには、地域経済活動の活性化対策が必要であるが、地方分権が進む中、財源確保が不可欠であり、自主財源

確保に寄与する、地域産業振興対策を明確に打ち出すことが必要と考えるが。

町長 人口の流出は、峡南地方の雇用創出の遅れが一番の原因と思われる中で、誘致企業決定が取り付けられた。

近い将来、地方交付金が減少され、財政基盤が非常に難しい時代になるため、経済の活性化は重要であるので、施策を展開してゆく。

問 町内には滞在交流出来る施設が乏しく、峡南北部地域への宿泊客は、年間8千人と希少である。

みたまの湯への宿泊施設の整備を含め、他の施設・地域との連携を取り、観光振興を図ることで、雇用の創出が生まれ、地域の活性化に連なると思うが。

条件整備や、支援活用方策の推進には、民間投資やノウハウを積極的に活用すべきであると考えるが。

町長 各地区から活性化の提言をもらい、事業5ヶ年計画に入れ込む施策を、現在行っている。

地域と連携した観光振興を含めた、まちづくりをすることは重要であり、模索している。

みたまの湯周辺への集客・宿泊施設については、農振除外が可能かどうか、総事業費その他を含め検討中。



みたまの湯

病院の合併問題に対する町長の方針は

— 瀬 正議員

— 最善の選択をしていく —

問 県医務課主導の町立病院と鯉沢病院合併は、医療面だけでなく、財政面からも悔いを残す、合併問題に対する方針は。

町長 両病院の一体的な経営を仮定し医療提供体制が強化され黒字に転換するとしている。町立病院は38年経過し、老朽化が進んでおり建て替えを考えている。病院整備に向け、最善の選択をしていく。

問 問題点は医師の確保にある。現在いる医師がそのまま在籍するか心配だが。

町長 問題点は、指摘をしている。あらゆる角度で細かいところの詰めをしている。

問 地域医療再生基金は、町立病院に使用して欲しいお金だと考えるが。

町長 鯉沢病院が今のまま残れば町立で使える。医大、県との関係を大事にし最善策で町立病院が残ればと思いい取り組んでいる。

問 市川高校存続のために、町の対策は。

町長 市川高校自身の魅力ある高校への努力が大切である。町、教育委員会としても十分な取り組みをした。

教育委員長 地元の中学が学力向上する事によって、市川高校へ多くの生徒が進学できるように考える。

教育長 町内の生徒が進学を選択する環境づくりが大切である。

問 市川大門駅から、町立病院への踏切の新設を。

町長 安全の観点から困難となっている。粘り強く取り組んでいきたい。

問 保育所、小中学校への非常食の備蓄はどうなっているか。

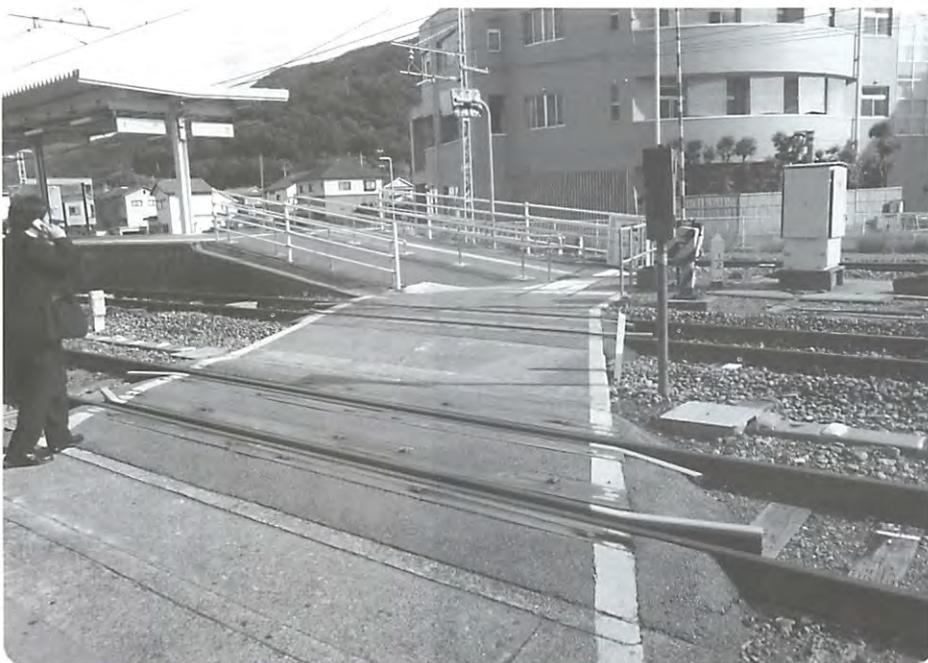
町長 必要最低限の食料を備蓄していく。

問 大塚地区工業団地での大量の廃棄物が見つかった問題での県、町の取り組みの経過は。

町長 県からの報告も頂けると思う、誘致企業に対しては6月26日に東京本社を訪問して来た。

問 県の道路整備計画の見直しによる本町の都市計画道路への影響と対策は。

町長 本町の実情に合った都市計画道路網の見直しや再編を検討していく。



駅構内

AEDの設置数・保守点検状況は!!

市川朝嗣 議員



—各課で点検確認している—



AED講習会

問 自動体外式除細動器AEDは、心肺停止時、除細時、心臓に電気ショックを与え、初期効果に優れ、救命率が高い機器である、本町の設置数は、
町長 平成18年度より、AEDの導入設置し、小中学校に10台、本庁舎及び支所に3台、社会体育施設に3台、公民館施設に7台、保育所に5台、つむぎの湯に1台で合計29施設に29台を設置してある。

問 保守点検状況はどのようになっているか。
町長 リース形態のものとしてリース終了のもの、いずれの場合もユーザーの点検であり、各課において、バッテリーとパッドの有効期限が2年であり、機器が正常に作動しているかを確認している。また職員の使用研修を年2回行っている。

問 防災訓練も終り、防災・減災への意識も高まっている中で、町の防災備蓄品の種類、数量は。
町長 アルファーマイ米3万9、150食分、乾パン1、500食分、飲料水2リットル用ペットボトル1万8、094本、小児用・大人用おむつ2万1、450枚、ティッシュペーパー500箱、簡易トイレ81基、その他投光器・テント・ボール・スコップ・ハンマー等の機材、多種多様にわたり39種類。

問 目的とする備蓄量は。
町長 食糧・水等は想定避難所生活者の3日分の食料を必要量としている。

問 各家庭での備蓄を促進するPR活動は。
町長 防災区長会・各区・組の総会時の出前講座、広

報掲載等あらゆる機会を通じてPRしていく。

問 衛星携帯電話の通話訓練は行っているか。
町長 防災訓練時に行っている。



本庁舎備蓄品

「道の駅」建設で町の活性化を

宮崎博巳議員

「地域の連携を主体に直売所を計画したい」

問 休憩、情報、連携、防災と4つの機能を持ち、魅力あふれる情報発信の拠点となる。道の駅建設の計画は。

町長 地域の連携を主体に直売所を計画したいと考えている。

問 昨年12月に土木環境委員会質問が出たが、その時協議中であるとのことだったが、その後の進捗状況は

丹沢産業振興課長 現在町内に2ヶ所の直売所がありその調整に時間がかかった。運営については農協を主体に計画を練っている。

問 高齢者がいきいきと作ったもの、障害者の就労支援での生産したものなどの販売の検討は。

町長 農協、商工会の協力を得て、何とか実現したい。

問 防犯・防災情報をEメールで配信する、メールサービスへの導入計画は。

町長 利用時に費用が発生するが、広報や、町HPを通じて情報発信についても前向きに検討して行く。

問 緊急性の高い災害・非難情報を一斉送信できる「エリアメール」の活用を。

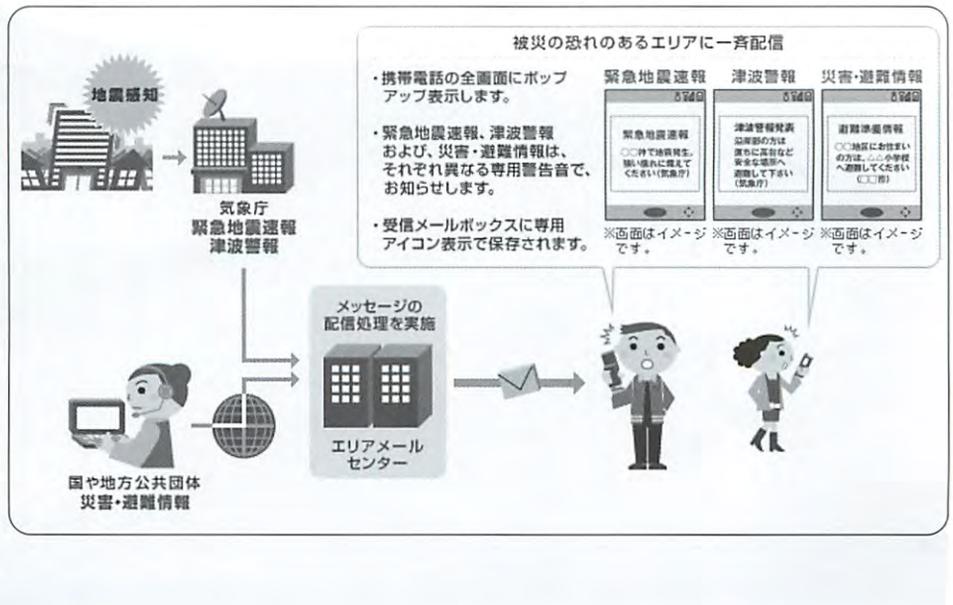
町長 「緊急速報メール」の活用を検討し、対応を検討し、利用に向けて鋭意努力して行く。



みたまの湯直売所

問 災害時・ラジオによる情報伝達、災害FM局開局について。

町長 現状開局はしていない、開局には多額の費用とランニングコストがかかる。原則として県を通じ、放送局へ依頼するもの、緊急時には直接放送局町長が依頼出来る事になっており、こ



れを利用する事は可能。

問 やまなし暮らしネットの利用、活用は。

長澤総務課長 現状は時間がかかり現時には出来ない、エリアメールだけは国、気象庁のものとかみ合わせながらやって行きたい。

中山間地域総合整備事業の終結は

三神 貞雄 議員

—地権者、推進委員会と協議し 取り組みを図る—



問 大塚第1工区、中山間地域総合整備事業は、実施後約10年が経過するが、事業終結の確認ができない、登記事務の進展は。

町長 推進委員の意向により、地権者全員の同意を得てから作業に入ることとなっていた。

現在も42名中、2名から同意が得られず、いまだ未登記のままとなっている。

問 区画整理による、土地面積の増減に対する、金額の受け取り、支払状況は。

町長 区画整理による土地の増減に対する金額の受払についても、換地処分登記を行うことになっているため、現在も金銭の精算が行われていない。

三珠地区の中山間地総合整備事業は、平成25年度に事業完了となるので、再度、地権者へのお願いと、推進委員会とも協議し、清算金の徴収・交付を進めていくよう考えている。

問 地権者の中には世代も変わり、今も農地にならな

い土地もあるが、その対応は。

町長 工事後も不具合が生じている農地については、毎年補完工事を実施し、その解消に努めている。

事業完了年度も間近となっているので、しっかりと補完工事を行い、良好な農地となるよう取り組んでいく。

問 中山間地総合整備事業は、農家や、農業者が理想的に農業を営めるよう、国の施策として行う事業だと思いが。

町長 中山間地総合整備事業の目的は、農家・農業者が理想的な農業を営めるようにということも目的の一つである。

中山間地は、傾斜地が多いといった地形特性等から、農業生産条件が不利な状況にあることにより、中山間地域の立地条件を生かした農業と、活力ある農村づくりを促進するとともに、併せて地域における定住促進、国土・環境の保全等に資することを目的としている。

問 農家においては、日中田畑での作業が多く、大塚上河原地域は防災行政無線が聞こえないため、設置が必要と思うが。

町長 町民から放送が聞きづらい等連絡があればすぐ

調査を実施し、聞ける状態を保っている。
当該地区においても緊急情報を知らせるため、専門的調査を行っていく。



大塚第1工区圃場整備

討論

(賛成15 反対1)

■平成23年度一般会計決算認定

(反対) 一瀬 正 議員
町道宮原一本松線は、幾度となく予算計上され、更正された。3月11日に現地調査と説明を受けたが、利益になる事業か疑問であり、反対する。

(賛成) 笠井 雄一 議員

町道宮原一本松広場線新設改良事業については、インターチェンジへのアクセス道路として、地域の発展に欠かすことが出来ない道路であり、地域に貢献している。

運んで相談にのる事が必要、国の悪政のもと最大限行政の努力を求め反対する。

(賛成) 笠井 雄一 議員

確かに医療費は増え続けている。また国庫負担率等の縮小が経営に影響を、与えていることは否定できない。

本町では平成22年度に税率改正により加入者への負担を求めた。財政基金を活用しギリギリまで加入者の負担増とならぬよう務めてきた。県内における一人当たりの保険税額も下位である。また、不足する財源には繰入金投入して取り組んでいることは評価する。

ける制度になつていない事に反対する。

(賛成) 笠井 雄一 議員

老老介護や認知症問題等課題が山積しており、本町では、地域包括センターを中心に、認知症対策や、高齢者虐待見守りネットワークの構築に向けて、取り組みや、運動機能向上教室等予防事業に力を入れ努力している。

■平成23年度後期高齢者医療特別会計決算認定

(反対) 一瀬 正 議員

年齢により、医療のサービスを差別する制度は廃止し、高齢者が安心して医療を受けられるようにすべきである。後期高齢者医療保険制度に反対する立場から反対する。

(賛成) 笠井 雄一 議員

現在、高齢者医療制度改革会議において、高齢者のための新たな医療制度が取りまとめられたが、国会が混乱する中、事実上の棚上げとなった。新制度が発足するまで少子高齢化が進

む中、高齢者の医療を守るため、この制度を堅持し安心して医療が受けられるよう努めて行く事が大切である。

■市川三郷町老人医療費助成金支給条例廃止

(反対) 一瀬 正 議員

山梨県単独で行った68歳から69歳までの医療費を無料化した先進的な施策であったが県の制度の廃止に伴い、町も廃止するもの。年金で暮らしている人は3割負担になる。国民を苦しめる政治の下では、住民は安心して暮らせない。

(賛成) 川崎 充朗 議員

県が廃止する事であり、この制度を継続すれば、負担割合が低い「逆転現象」が起き世代間で給付と負担の不公平感が生まれる。町単独での実施は、事業費が倍増するだけでなく、事務が煩雑化し事業本体以外の費用もかかり、単独での実施は見送るべきとの判断による。

審議結果

◎第1回臨時会 (7月17日)	結果
・平成24年度一般会計補正予算(第2号)の専決処分につき承認を求める	承認 全会一致
◎第2回臨時会 (8月10日)	
・平成24年度一般会計補正予算(第3号)	可決 全会一致
・六郷中学校特別教室棟改築工事(建築主体工事)請負契約の締結について	可決 全会一致
◎第3回定例会 (9月5日~19日)	
・大同財産区管理委員会委員の選任につき、同意を求める	同意 全会一致
・防災会議条例等中改正について	可決 全会一致
・災害弔慰金の支給等に関する条例中改正について	可決 全会一致
・老人医療費助成金支給条例廃止について	可決 賛成多数
・山梨県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決 全会一致
・平成24年度一般会計補正予算(第4号)	可決 全会一致
・平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
・平成24年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決 賛成多数
・平成24年度簡易水道特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
・平成24年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
・平成23年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	認定 賛成多数
・平成23年度上水道事業会計決算認定について	認定 全会一致
・平成23年度病院事業会計決算認定について	認定 全会一致
・平成24年度一般会計補正予算(第5号)	可決 全会一致
・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める(2件)	適任 全会一致
・30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出	採択 全会一致

議会傍聴にお出かけください

次回定例会は12月に予定されています。

傍聴の定員

本会議 30人 委員会 各8人

◆9月定例会の傍聴実績(のべ人数)

本会議 12人 委員会 3人

◆会議録検索システム利用件数

1月から9月まで 3,352件

◆お問い合わせ

議会事務局 TEL055-272-1108

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字詰め原稿用紙1枚以内、氏名(区名)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ：議会事務局 TEL055-272-1108

みんなのページ



富士見保育所の子どもたち！

今年度は、33名の園児と6名の職員で、「誰とでも 笑顔であいさつをしよう」「よく見て 聞いて 考える子になろう」を年間目標にして、毎日元気いっぱい色々な活動に励んでいます。

年長組になると、「和太鼓」に取り組みます。小さな友だちが、その練習の様子を見たり聴いたり、また応援するなかで、日毎に上手になってきました。町の老人健康施設や敬老会では和太鼓演奏を披露して、たくさんの拍手をいただき、喜ばれるなどして子どもたちは、自信につながったかと思えます。

又、2階は、いきいき健康課の管轄のもと、子育て支援センター「友優」があり、小さな友だちや小学生と触れあう機会があり、成長の過程のなかでよい刺激となっています。

これからも、子どもたちが心身ともに健康で、すくすく大きく育っていくことを願っています。



富士見の年長組!!

編集後記

記録的な猛暑日が続くなか、第3回9月定例会が開催され、議長・副議長・各常任委員会の委員の改選が行われ、新体制が決った議会でした。

地方分権の流れの中で、議会基本条例の策定に向けて取り組んでおります。

4年に一度のオリンピック・パラリンピックも無事に終わり、あらたな感動が見られました。

議会も総合力で活動をわかりやすく、読みやすい「議会だより」発行に心がけ努めていきます。

これからも議会広報モニター様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(記 有泉)

議会広報編集特別委員会

委員長 笠井 雄一

副委員長 土屋恵三郎

委員 市川 朝嗣

川崎 充朗

宮崎 博巳

有泉 希